



羽村市で実施された、第 19 回地域教育シンポジウムに 学生が参加して意見交換をしました。

1月21日(土)に羽村市生涯学習センターゆとろぎにおいて、「考えてみよう！みんなの個性！～自分を表現できていますか？～」のテーマで開催され、201人（小中学生と大人）が参加しました。実行委員会に、地域からは青少年対策地区委員会や青少年育成委員会の委員、保護者としてPTA 会員、子どもの実態に詳しい学校教諭が参加しました。高校生以上の若者の考えを取り入れるため羽村市からの依頼により、総合政策学部の学生3名と保健学部の学生2名がシンポジウムに参加しました。



テーマを基にした寸劇を見た後、グループに分かれ、ファシリテーター（保健学部の望月さんが担当しました）を中心に討議を展開し、子どもたちと自由な意見交換をしました。参加した学生からは「地域の方のご協力を頂き有意義な時間を共有できて視野が広がりました」「子どもの発想の豊かさに驚きました」などの感想を得ることができ、成長できる活動となりました。

学生が企画！「はじめてのおみせやさん」が、 アトレヴィ三鷹で大好評のうち終了。



1月28日(土)に「はじめてのおみせやさん」をアトレヴィ三鷹で開催しました。

この活動はアトレヴィ三鷹、(株)紀ノ國屋、本学の連携事業の一環として、『ものを創ること、ものを売ること』の『楽しさと大変さ』を子どもたちに体験してもらい、未来につながる思い出作りを目的として学生が企画したものです。このイベントに公募の小学生11名と、外国語学部の学生7名が参加しました。午前中は紀ノ國屋フードセンターで「HAPPY」をテーマにアイシングクッキーづくりを体験し、午後はアトレヴィ三鷹の改札内3Fにある「KINOKUNIYA Bakery」で、アイシングクッキーの販売とコンテストを行いました。

参加した学生たちは、子どもたちへ様々なアドバイスやフォローをしながらイベントを全面的に支えていました。企画から携わってきた学生は「難題もありましたが、今日を迎えることができ本当によかったです」「子どもは限りない力と夢を秘めていると感じました」など手づくり企画ならではの感想を話してくれました。



最優秀作品→

アクティビティを使って、高齢者支援を実施。

“アクティビティ”とは、手・足の運動機能のみならず、認知機能・癒し・五感の刺激、コミュニケーションの活発化など高齢者の様々な状況に合わせて活動を促すことができるおもちゃのことです。12月8日(木)特別養護老人ホーム愛全園にて、要介護高齢者に対し①運動機能②認知・心理機能③コミュニケーション能力④ADL動作の維持・向上を目指すこと、および学生の要介護高齢者の理解を深めることを目的として、施設スタッフの方2名にお手伝いを頂き、保健学部の教員1名と学生2名が参加し、高齢者20名と交流しました。



終了後、学生からは「自分も楽しめ時間を経つのを忘れてしまった」「次回も参加したい」など積極的な発言が聞かれると同時に、「利用者さんに分かるように話をするのが難しい」などの反省点も具体的にあげていました。



第67回全関東八王子夢街道駅伝競争大会に保健学部の学生16名が参加しました。

JR 八王子駅北口をスタート地点として、公道を走る駅伝大会として国内最大規模を誇る「第67回全関東八王子夢街道駅伝競争大会」が、2月12日に全国から過去最高の540チーム約2,160名が参加し開催されました。この大会に本年も保健学部救急救命学科から教員3名、学生16名が救急医療ボランティアとして参加し、コースに設けられた4カ所の救護所にAED等の救急資器材を配置し応急救護を担当し、参加者の安全確保が図られ、駅伝大会成功の一助となりました。参加した学生は「大きな怪我や救急出動がなく無事に大会が終了し安心しました。」と大会の成功を見守った感想を話してくれました。



みたから 2号発刊!

NEW

受講生募集中!

- 生きがいづくりコーディネーター
- 高齢社会における地域活性化コーディネーター

締切り：2月28日(火)

受講場所：井の頭キャンパス

八王子市・羽村市・三鷹市、井の頭キャンパスにおいて案内書を配付しております。本学HPからも必要書類をダウンロードできます。



アトレヴィ三鷹と協働事業である、三鷹地域のガイドブック「みたから」2号が、2月3日(金)に発行しました。

学生のプランを活かしたお花見企画や多彩なイラストを取り入れた斬新な内容となっています。ぜひ新しい感覚で三鷹地域をご覧ください。アトレヴィ三鷹駅構内等で配布されています。